

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 28日

埼玉県大野知事 殿

提出者 埼玉県大里郡寄居町富田2354
住 所 本田技研工業株式会社 埼玉製作所
氏 名 所長 軸屋 勇治
電話番号 04-2953-4111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	本田技研工業株式会社 埼玉製作所 狭山工場
事業場の所在地	埼玉県狭山市新狭山1丁目10番地1
計画期間	令和5年4月～令和6年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	運送用機器器具製造業
②事業の規模	年間出荷台数 0台(令和4年度) 部品生産のみ
③従業員数	390人 (令和5年4月末現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
管理体制図 別紙 2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり	
	(これまでに実施した取組) ・製品品質（製品歩留まり）向上による生産副産物の削減 ・毎月の環境会議で、排出量を報告して削減をPR (排出部門別の月度予実管理実施)		
② 計画	【目標】（令和5年度）		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり	
	(今後実施する予定の取組) ・現状の継続展開の実施		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・環境教育等によるゴミ分別内容の周知徹底をする。 ・全員に環境リーフレット（廃棄物分別手帳）を配布し分別をPR ・分別が悪い部門は会議でPR		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続展開の実施		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり	
	(これまでに実施した取組) ・ 所内焼却炉の廃止 ・ 排水汚泥脱水機の更新		
② 計画	【目標】（令和5年度）		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり	
(今後実施する予定の取組) ・ 排水汚泥脱水機の廃止			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり	
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり	
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> 委託業者の選定…委託業者の現地調査、適正処理の確認を行う。 マニフェストシステム…電子マニフェストを導入拡大 			

(第5面)

② 計画	【目標】 (令和5年度)		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり	
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり	
	(今後実施する予定の取組) ・継続展開の実施		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

廃棄物処理フロー図

発生場所

工場
全
域

委託処理部分の範囲



別紙2 環境マネジメント組織図

埼玉製作所 環境マネジメント組織図



